

## 三起商行株式会社

北京五輪での活躍に期待!

# スポーツ支援で 子どもたちに夢を

子ども服のトップブランドメーカー、ミキハウスのメセナ活動の軸はスポーツ支援事業。柔道の野村忠宏、薪谷翠、卓球の平野早矢香、アーチェリーの守屋龍一、北島紗代子ら、世界トップレベルのアスリートがミキハウススポーツクラブに所属している。



澤井 英光 氏  
三起商行株式会社  
社長室 室長

「企業のスポーツ支援といえばPR活動の一環という印象が強い。でも私たちはそれを広告とは切り離して考えています。今の日本のスポーツ界では高校や大学を卒業後、選手として競技生活に専念できる環境が整っていません。私たちは選手を社員として迎え入れ、自由な競技活動を認めています。夢に向かってひたむきに頑張っている人を全社で応援していこうというものです」と語る社長室室長の澤井

英光氏。選手は社員待遇のまま、それぞれが練習したい場所で練習し、そこから大会に出場する。ミキハウスのユニフォームを着ること以外、会社に拘束されることもなく、メディアへの露出は会社の広報が担当。さらに競技活動に関わる遠征費などの経済的支援も受けられる好待遇に引かれ、支援の申し込みは年間100件を越えるという。



きのくに子どもの村学園  
子どもの夢や個性を大切に、体験学習中心の授業が行われている。



### ミキハウス柔道教室

日本の、世界の柔道をリードしてきたミキハウス柔道部による、子どもたちのための柔道教室。近隣だけでなく京都や和歌山から通う子どももいる。

選手たちは大会がないときは小・中学校に招かれ講演会を開いたり、子ども対象のミキハウスジュニアスポーツクラブでの指導を行う。また八尾市にある柔道場では無料で柔道教室を開催。トップクラスの選手を教えるコーチ陣が、礼儀からきちんと指導。ときにはメダリストもやってくる。スーパースターのような存在の選手に直接、教えてもらう経験は、子どもたちに感動を与え夢も大きくふくらむことだろう。連日、子どもたちの元気な声で活気にあふれている。

経済的支援では、和歌山県橋本市にある『きのくに子どもの村学園』を設立時からサポート。この学園はフリースクールといわれる形態をとり、学年をつくらず、子どもがしたい活動でクラスを選ぶというもの。学園の理念と子どもの夢や可能性を広げるというミキハウスの精神が合致したことから支援が始まった。

「子どもが夢をもって生きていけること、がんばろうと思えることを私たちはとても大切にしています。ファッションだけでなく、もっと広く子どもをとりまく環境を整備していく。メセナ活動もその一環です」

今年北京でオリンピックが開催される。ミキハウスではすでに6選手の出場が決定(2008.1月現在)。やはり社員が出場するので意気込みも違うという。テレビ中継が深夜の日でも社員がホールに集まり、大型ビジョンでの応援で盛り上がる。

「選手が活躍すれば、社員の志気も高まり仕事にも熱くなれます」スポーツ支援のメセナは、そんな無形のメリットもあるという。



三起商行株式会社 本社  
大阪府八尾市若林町1丁目76-2  
<http://www.mikihouse.co.jp/>